

第63回通常総会・総会懇親会



第63回通常総会



永年勤続優良従業員表彰

[第63回通常総会]

- 1 開催日時 平成27年5月21日（木）16時00分～17時05分
- 2 開催場所 生田神社会館 3階 菊
- 3 出席会員 134社（委任状提出67社を含む。）
- 4 結果

（1） 会長挨拶

今年は、早いもので阪神淡路大震災から20年の節目を迎えました。その経験も踏まえ、次に来るであろうと言われる南海トラフ地震に対する様々な形での準備もしていかなければならないのではないかと思います。

以前も会員各位にご案内をいたしました、福井、京都、滋賀、奈良、和歌山そして兵庫の府県の電業協会が構成する近畿6電業協会会長連絡協議会においては、広域災害に対する相互応援協定を結んでおります。今年度は、南海トラフ地震で特に被害が大きくなるであろうと言われている和歌山県と奈良県の電業協会が中心となって相互応援協定の具体的な運用方法等について検討し、会長連絡協議会に提案していくことが予定されています。その際には、会員各位にご無理をお願いすることになると思いますが、災害に対しては、普段の準備が大切であり、お互いのことでもありますのでご理解をいただきますようお願いいたします。

我々の業界のいま一つ大きな課題は、従業員の高齢化と若年入職者の減少による人材の確保であります。昨年度には、兵庫県建設業育成魅力アップ協議会が立ち上がり、高校生に建設業界の魅力を伝えていく方策の協議をはじめとして、建設業のイメージアップに向けた活動を行っています。

この協議会は県が中心となり、労働局、教育委員会、建設業関係団体などで構成されていますが、2年目を迎えた今年は、高校生への情報発信の強化をはじめ、より具体的な活動を行うことが予定されています。こういったことも、会員の協力が無ければ進めていくことができません。今後いろいろなことをお願いすることもあると思いますが、どうかよろしく願いいたします。

（2） 議長選出

平井伸幸会長を議長に選出

（3） 議事録署名人選出

議長が定款に基づきダイトウ電気工事(株)大川康太郎理事及び栄興電機工業(株)小坂佳秀理事を指名

（4） 議事

ア 報告事項

第1号報告「平成26年度事業報告に関する件」、第2号報告「平成27年度事業計画に関する件」及び第3号報告「平成27年度収支予算に関する件」の3件の報告が行われました。

イ 審議事項

第1号議案 「平成26年度収支決算（案）に関する件」が、満場一致で可決承認されました。

ウ その他

小山副会長から加茂 忍顧問の辞任に伴い、新たに兵庫県議会議員の松本隆弘先生を顧問に委嘱したことが報告されました。

(5) 平成26年度永年勤続優良従業員表彰

会員企業から推薦のあった、永年にわたり勤務し、勤務成績良好で他の模範となる次の5名の方々に
対し、平井会長から表彰状並びに記念品が授与されました。

・井浦良平 氏（四国電設工業㈱） ・寺崎良洋 氏（平尾電工㈱） ・橘 史雄 氏（ミナト電気
工事㈱） ・森 裕恭 氏（松尾電設工業㈱） ・福山正義 氏（尼崎電機㈱）

(6) 新入会員紹介

平成27年4月1日賛助会員として入会いただいた株式会社協電神戸営業所様の紹介が行われました。

(7) 青年部会報告

日常、業界の発展に努力されている青年部会の活動を会員にアピールするため、岡田青年部会長から
青年部会の平成26年度活動状況の報告が行われました。

(8) 閉会挨拶

小山副会長から総会運営に対する会員の協力に対して、感謝の言葉が述べられ、総会を閉会しました。

[総会懇親会]

午後5時30分から同会館4階富士において、兵庫県知事井戸敏三氏、同副知事吉本知之氏をはじめ兵
庫県及び神戸市幹部、関係団体代表等のご来賓をお迎えし、正会員・賛助会員と合わせ149名の参加の
もと第63回通常総会懇親会が開催されました。

懇親会の席上、新たに協会顧問に就任いただいた兵庫県議会議員松本隆弘先生をご紹介します、就任に当た
ってのご挨拶をいただきました。



平井会長挨拶



井戸知事祝辞



松本新顧問挨拶



懇談風景

井戸知事祝辞

平成27年度兵庫県電業協会通常総会懇親会が、盛会裏に開催されますことをお祝い申し上げます。

さて、昨年度電業協会のご協力を得まして、高校生のインターンシップ、就業体験を行っていただき100人近い生徒達が現場学習をさせていただきました。この彼ら全部が電設業界に進んでくれるわけではないでしょうが、これだけの生徒達が関心を持っている、一度就業体験をしようとしていること自体が人材育成につながってくればいいし、併せてこのような機会をつくっていただいている皆様に感謝を申し上げたいと思います。特に高校2年生にこういう現場体験・就業体験をさせ、そして将来の自分の職業意識を形成するとともに、自分は本当に何をしたいのを考えるいい機会を提供いただいていると思います。それがまさしくこの世界に入りたいという動機付けになれば幸いです。

また近畿の電業協会で広域の災害協定を結ばれているという話がありましたが、県と電業協会の方でも、いざという時の応援協定を9年くらい前に結ばせていただいております。幸い、発動の機会がありませんが、訓練の必要があるのかもしれませんが、よろしく相談をさせていただければと思います。

有効求人倍率であります。兵庫県の最新は0.96です。本県の倍率が0.96であるということは、阪神間の求人が大阪にも出され、一方求職は住所地のハローワークに出されますので実態は1を超えているのではないかと考えています。課題は正規職員の求人数が少ないというものですが、ただ正規をどのように定義していくのか、これからますます問われてくるのではないかと思います。つまり同一労働、同一賃金の原則をもっときちっと確立すべきなのであって、雇用期間の長さではかるべきではないのではないかというのですが、今国会でも労働法制の変更が大きな課題になっています。

会長から震災から20年のお話がありましたが、県政のポスト20年の課題は何なのかと考えたときやはり安全の確保、安全基盤をきっちりと確立していくことが重要で、南海トラフだけ、土砂災害対策だけではなく、それらとあわせ健康、教育、治安など広い意味での安全基盤を確立していくことが重要なのではないか。そうすると兵庫は安全で安心だということで、人が外に出なくなるし、外から人も企業も来てくれるということにつながるのではないかと考えています。そういった基盤をつくりあげていくことが大きな課題であります。これには時間とお金が必要です。それをうまく組み合わせてできる限り早く基盤を作っていきたいと考えますが、業界の皆様大変お世話になることになろうかと思います。

今のような、世の中が新しい時代に向かって動きつつあるこういう時こそ、一つ一つの課題を解決していく努力を積み重ねたいと思います。

最後になりましたが、兵庫県電業協会の益々のご発展とご参会の皆様方のご活躍を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

主な行政関係出席者(敬称略)

井戸敏三(兵庫県知事)、吉本知之(兵庫県副知事)、松本隆弘(兵庫県議会議員・協会顧問)、高田巖(元神戸市会議員・協会顧問)、笠尾卓朗(兵庫県まちづくり部長)、尾田博明(兵庫県土企画局長)、小南正雄(兵庫県住宅建築局長)、秋山和裕(兵庫県環境管理局长)、寺谷進(兵庫県企業庁次長)、中村義朗(神戸市住宅都市局設備担当部長)、大町勝(兵庫県住宅供給公社理事長)、山田聖一(兵庫県道路公社理事長)